



田辺三菱製薬株式会社

2007年度 中間決算説明会

2007. 11. 5
於：経団連会館

代表取締役社長
葉山夏樹



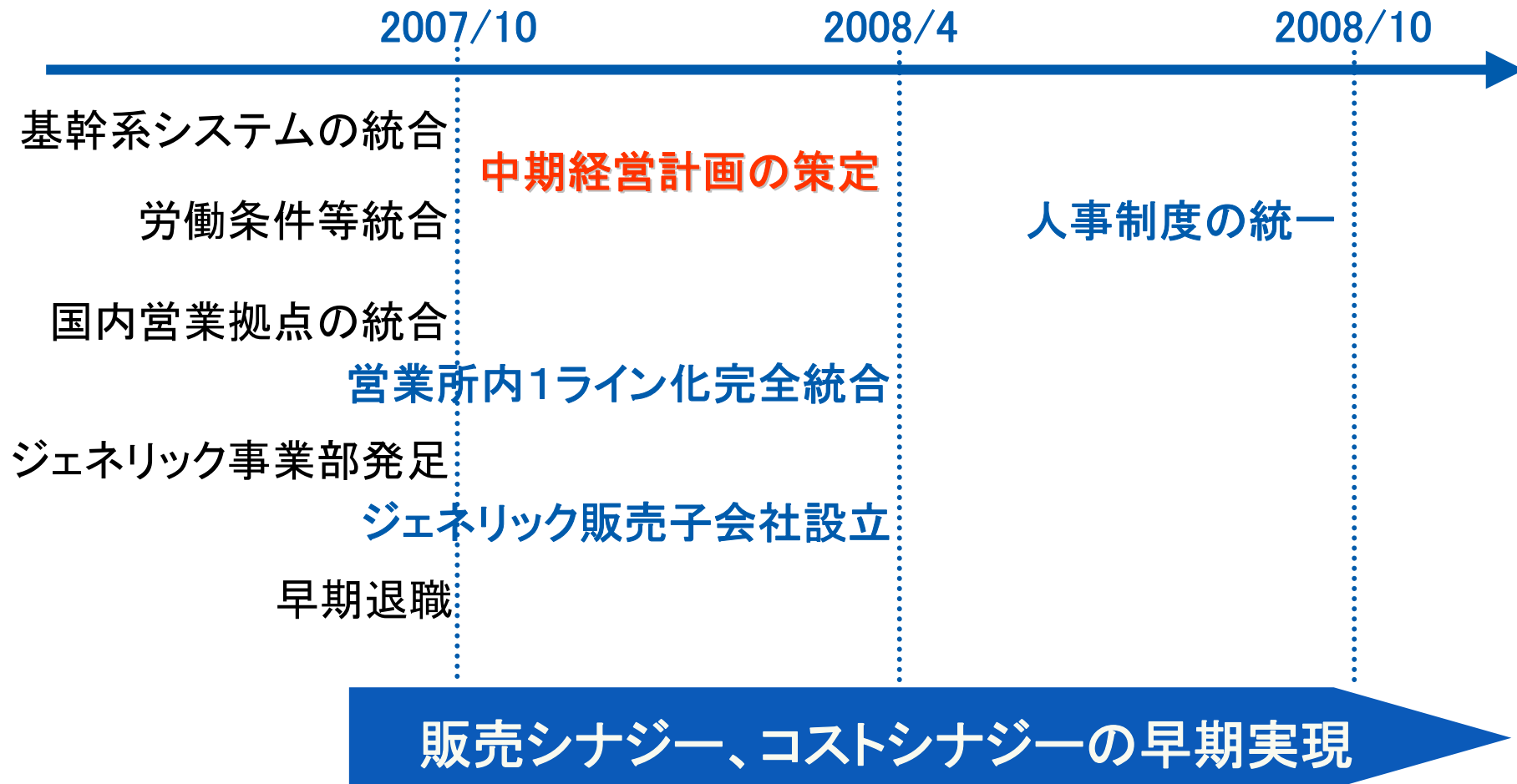
2007年10月1日

田辺三菱製薬スタート

田辺三菱製薬スタート



田辺三菱製薬発足



販売シナジーの早期実現

－国内医療用医薬品市場でのプレゼンス向上－



- 15支店142営業所体制
 - MR2600名体制
 - 戦略領域(免疫／脳疾患)専門組織の増強
 - ・レミケードエリアマネージャー増員
 - ・脳領域専門MR増員
 - 共同育成4品目プロモーション開始
 - ・事前に相互研修実施
-
- ウルソ C型慢性肝疾患承認取得 (2007/3)
 - タリオン OD錠発売 (2007/7)
 - アンプラーグ 小型錠承認 (2007/8)
 - レミケード クローン病維持治療承認取得 (2007年内予定)
 - レミケード リウマチ増量申請 (2007/9)
 - 遺伝子組換えアルブミン「メドウェイ」承認取得 (2007/10)

コストシナジীরの早期創出



■ 人件費削減

- 新卒採用の抑制
- 社外転出支援等

➡ 早期退職 118名

■ 各種経費削減

- 販売促進費・広告宣伝費の効率化
- 重複コスト集約
- ITコストの削減

➡ 基幹系システムの統合完了

■ 拠点統廃合

- 販売拠点統廃合
- 国内外事業所の集約

➡ 15支店142営業所体制

2007年度 業績見込



	2007年度 業績見込	2010年度 経営目標
	億円	億円
売上高	4,118	4,800
営業利益 (のれん償却後)	704	1,000
当期純利益	359	600
研究開発費	755	870

(単純合算ベース)

(旧)田辺製薬

2007年度 中間決算の概要

(平成20年3月期)

2007年度 中間決算概況【旧田辺 2007年度 中間決算概況】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	855	938	+83	+9.7	885	106.0
売上原価	322	371	+49	+15.3	347	107.1
売上原価率	37.7%	39.6%			39.2%	
販管費	392	382	-10	-2.5	398	96.0
営業利益	141	184	+43	+30.9	140	131.7
経常利益	152	192	+40	+26.4	145	132.6
中間純利益	95	99	+4	+4.4	75	132.5

公表見込:2007年5月9日決算発表時に公表した中間期予想値

セグメント別売上高

【旧田辺 2007年度 中間決算概況】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	855	938	+83	+9.7	885	106.0
医薬品事業	789	873	+84	+10.7	822	106.3
医療用医薬品	761	843	+82	+10.8	793	106.3
一般用医薬品	28	31	+2	+8.2	29	106.3
その他事業	66	64	-1	-1.8	63	102.3
(うち海外売上)	(85)	(96)	(+11)	(+13.4)	(86)	(111.5)

医療用医薬品 主要製品売上高

【旧田辺 2007年度 中間決算概況】

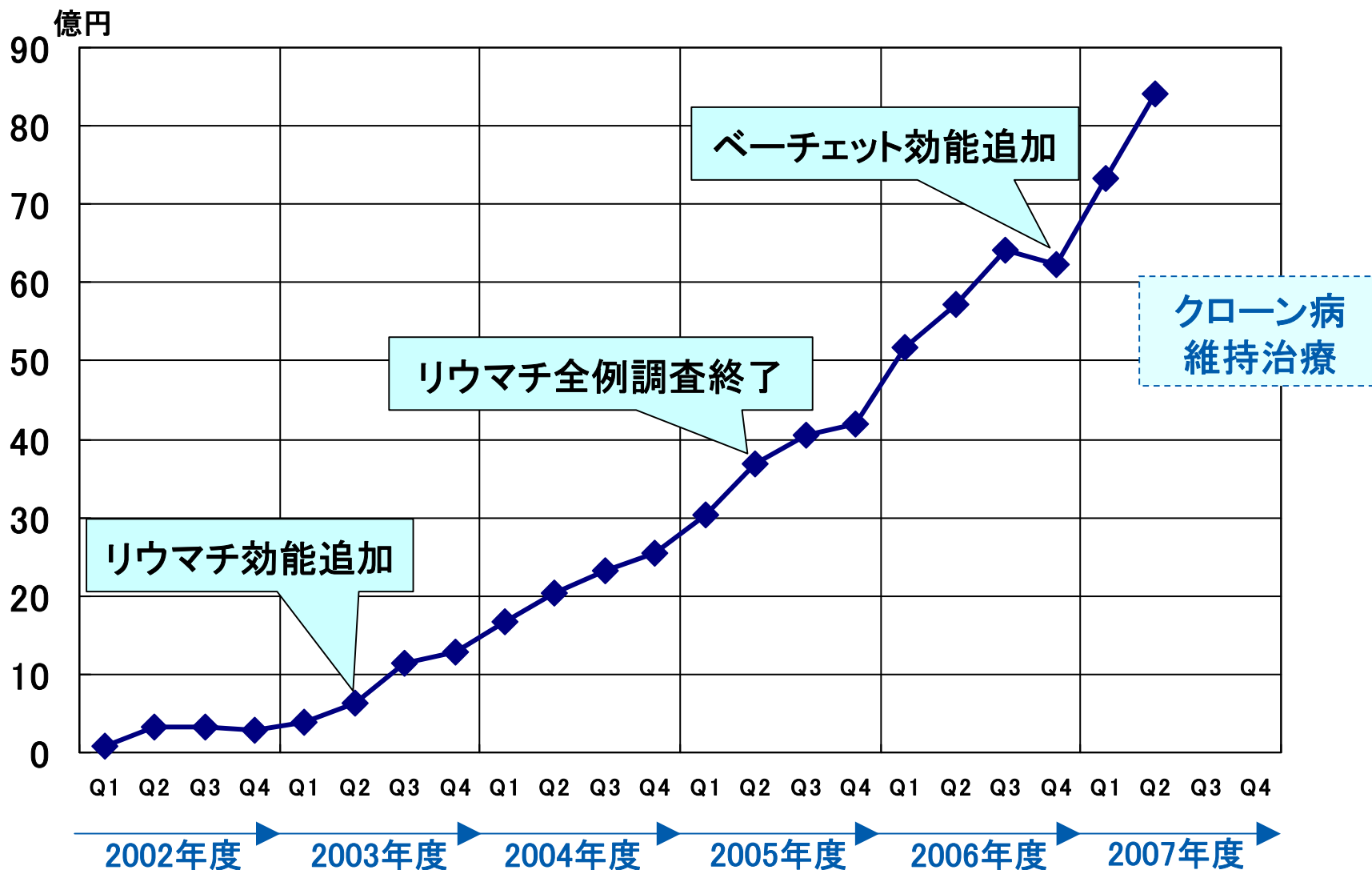


田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
医療用医薬品	761	843	+82	+10.8	793	106.3
レミケード	93	135	+42	+45.4	126	107.3
ヘルベッサー	93	91	-2	-1.7	88	103.4
セレジスト	73	79	+6	+8.3	77	102.5
タナトリル	74	75	+1	+1.1	71	106.2
メインテート	50	52	+3	+5.2	51	102.1
サアミオン	52	51	-2	-3.1	47	107.7
タリオン	26	33	+7	+28.4	29	115.8
ガストローム	31	30	-0	-1.4	30	100.5
ワクチン国内	50	69	+19	+37.9	55	125.5
（うちインフルエンザ）	(10)	(9)	(-1)	(-13.9)	(14)	(65.6)
（うちミールビック）	(29)	(44)	(+16)	(+55.0)	(29)	(150.8)

レミケードの売上推移(薬価ベース)

【旧田辺 2007年度 中間決算概況】



売上原価・販管費

【旧田辺 2007年度 中間決算概況】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	855	938	+83	+9.7	885	106.0
売上原価	322	371	+49	+15.3	347	107.1
売上原価率	37.7%	39.6%			39.2%	
販管費	392	382	-10	-2.5	398	96.0
研究開発費	140	125	-15	-10.8	137	91.4
人件費	112	114	+1	+1.2	115	99.0
販売諸費	27	35	+7	+27.2	32	108.6
その他	111	108	-3	-3.0	114	94.8
営業利益	141	184	+43	+30.9	140	131.7

営業外損益・特別損益

【旧田辺 2007年度 中間決算概況】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減	
	億円	億円	億円	%
営業利益	141	184	+43	+30.9
営業外収益	15	13	-2	
為替差益	6	-	-6	
営業外費用	4	5	+1	
為替差損	-	1	+1	
経常利益	152	192	+40	+26.4
特別利益	1	0	-0	
特別損失	0	29	+29	
合併関連費用	-	20	+20	
特別退職金	-	7	+7	
中間純利益	95	99	+4	+4.4

公表見込	達成率
億円	%
140	131.7
10	129.4
5	101.3
145	132.6
-	-
25	
25	
-	
75	132.5

(旧)三菱ウェルファーマ

2007年度 中間決算の概要

(平成20年3月期)

2007年度 中間決算概況

【旧三菱ウェルファーマ 2007年度 中間決算概況】



	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	1,122	1,139	+17	+1.5	1,165	97.8
売上原価	392	386	-6	-1.5	398	97.0
売上原価率	34.9%	33.9%			34.2%	
販管費	525	540	+16	+3.0	562	96.2
営業利益	206	213	+7	+3.5	205	103.9
経常利益	202	210	+7	+3.6	200	104.9
中間純利益	136	104	-32	-23.5	100	104.2

公表見込: 2007年5月9日決算発表時に公表した中間期予想値

セグメント別売上高

【旧三菱ウェルファーマ 2007年度 中間決算概況】



	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	1,122	1,139	+17	+1.5	1,165	97.8
医薬品事業	1,037	1,054	+17	+1.6	-	-
その他事業	85	86	+1	+0.7	-	-
(うち海外売上)	(77)	(93)	(+17)	(+21.6)	(-)	(-)

医薬品事業 主要製品売上高

【旧三菱ウェルファーマ 2007年度 中間決算概況】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
医薬品事業	1,037	1,054	+17	+1.6	-	-
ラジカット	141	146	+5	+3.5	149	97.8
アンプラーグ	82	93	+11	+13.2	96	96.7
ウルソ	80	84	+5	+5.7	92	91.5
ヴェノグロブリン-IH	65	69	+4	+5.8	66	103.8
デパス	57	58	+2	+3.2	59	99.0
リプル	50	53	+3	+6.2	53	100.4
オメプラゾン	29	32	+3	+11.1	32	100.6
テオドール	39	30	-9	-22.4	33	89.9
ノイアート	29	29	0	-0.5	29	99.5
ドラール	23	23	0	-0.1	23	99.1
ノバスタン	18	22	+4	+23.3	19	116.0

売上原価・販管費

【旧三菱ウェルファーマ 2007年度 中間決算概況】



	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	1,122	1,139	+17	+1.5	1,165	97.8
売上原価	392	386	-6	-1.5	398	97.0
売上原価率	34.9%	33.9%			34.2%	
販管費	525	540	+16	+3.0	562	96.1
研究開発費	222	241	+19	+8.7	254	94.9
人件費	164	158	-6	-3.9	-	-
販売諸費	32	36	+5	+14.5	-	-
その他	106	105	-2	-1.5	-	-
営業利益	206	213	+7	+3.5	205	103.9

営業外損益・特別損益

【旧三菱ウェルファーマ 2007年度 中間決算概況】



	06年度	07年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	206	213	+7	+3.5	205	103.9
営業外収益	7	7	0		-	-
営業外費用	10	10	0		-	-
経常利益	202	210	+7	+3.6	200	105.0
特別利益	27	2	-25		-	-
特別損失	4	39	+35		-	-
合併関連費用	-	16	+16		} 25	
特別退職金	2	9	+7			
工場閉鎖損失	-	14	+14			
中間純利益	136	104	-32	-23.5	100	104.0



田辺三菱製薬

2007年度 業績予想

(平成20年3月期)

2007年度 業績予想 (制度会計)



	06年度	07年度	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	1,775	3,180	+1,405	+79.1
売上原価	690	1,130	+440	+63.9
売上原価率	38.8%	35.5%		
販管費	781	1,530	+749	+95.9
営業利益	305	520	+215	+70.7
経常利益	323	520	+197	+60.8
当期純利益	202	260	+58	+28.9

06年度: 田辺製薬

07年度: 上期実績/三菱ウェルファーマ+下期見込/田辺三菱製薬

2007年度 業績予想 (単純合算)



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	差異
	億円	億円	億円	%	億円	億円
売上高	4,050	4,118	+67	+1.7	4,185	-67
売上原価	1,490	1,501	+12	+0.8	1,535	-34
売上原価率	36.8%	36.5%			36.7%	
販管費	1,857	1,912	+55	+3.0	1,960	-48
営業利益	704	704	0	0.0	690	+14
経常利益	717	712	-4	-0.6	695	+17
当期純利益	445	359	-85	-19.2	375	-16

公表見込: 2007年5月9日決算発表時に公表した予想値

医薬品事業 主要製品売上高

【2007年度 業績予想（単純合算）】



田辺三菱製薬

	06年度	07年度	増減		公表見込	増減率
	億円	億円	億円	%	億円	%
医薬品事業	3,742	3,815	+73	+1.9	-	-
ラジカット	286	290	+4	+1.4	297	-2.3
レミケード	205	283	+78	+38.0	270	4.5
アンプラーグ	167	186	+19	+11.7	191	-2.7
ウルソ	159	178	+19	+11.8	195	-8.8
タナトリル	145	143	-1	-1.0	142	1.2
タリオン	70	89	+19	+27.2	84	5.8
ヘルベッサー	180	177	-3	-1.9	174	1.5
セレジスト	145	151	+6	+4.1	153	-1.5
ヴェノグロブリン-IH	132	136	+3	+2.5	133	1.9
デパス	113	116	+3	+2.7	118	-1.9
ワクチン	162	166	+4	+2.4	148	12.1

売上原価・販管費

【2007年度 業績予想（単純合算）】



	06年度	07年度	増減		公表見込	増減率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,050	4,118	+67	+1.7	4,185	-1.6
売上原価	1,490	1,501	+12	+0.8	1,535	-2.2
売上原価率	36.8%	36.5%			36.7%	
販管費	1,857	1,912	+55	+3.0	1,960	-2.5
研究開発費	758	755	-2	-0.3	785	-3.8
人件費	553	527	-26	-4.7	-	-
のれん償却費	-	50	+50	-	50	-
その他	546	580	34	+6.1	-	-
営業利益	704	704	0	0.0	690	+2.1

営業外損益・特別損益

【2007年度 業績予想（単純合算）】



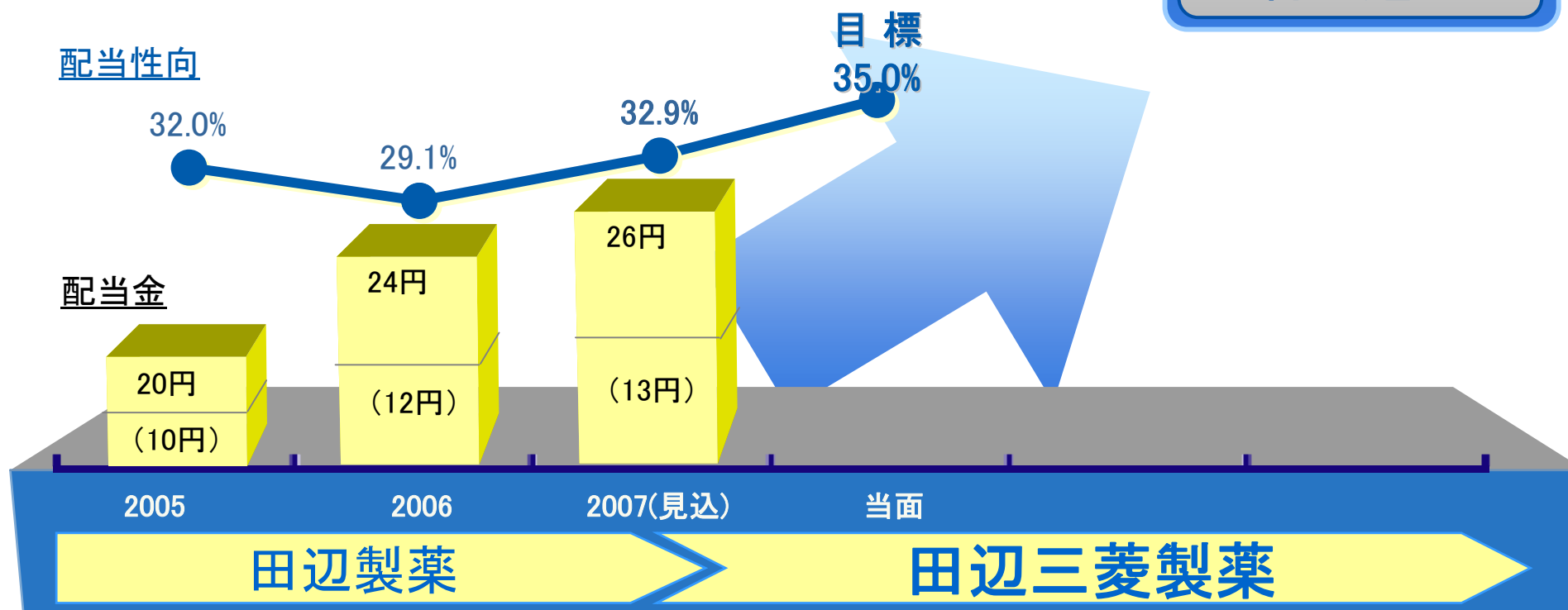
	06年度		07年度		増減		公表見込	増減率
	億円	億円	億円	%	億円	%		
営業利益	704	704	0	0.0	690	+2.1		
営業外損益	12	8	-4	-35.5	5	+60.0		
経常利益	717	712	-4	-0.6	695	+2.5		
特別利益	56	2	-55	-96.9	-	-		
特別損失	37	101	+64	-	-	-		
特別退職金	3	16	+13	-	-	-		
合併関連費用	7	64	+57	-	65	+20.0		
当期純利益	445	359	-85	-19.2	375	-4.2		

株主還元方針



- 当面、連結配当性向35%
(のれん償却前利益ベース)を目標とする
- 中長期的にはより積極的な株主還元を目指す

より積極的な
利益還元



※ 2007年度の配当金は、上期田辺製薬、下期田辺三菱製薬を用いております。また、配当性向は下期田辺三菱製薬の当期純利益見込額からのれん償却費および合併一時費用を除いた利益と期末配当予定額から算出しております。



新たな成長に向けて

— 田辺三菱製薬誕生 —

国際創薬企業の地位の早期確立

- 継続的な新薬創出体制の構築
- 海外事業展開の加速

国内市場でのプレゼンス向上

- 国内トップクラスの営業力活用

新たな事業機会への挑戦

- ジェネリック医薬品事業
- 個別化医療

創薬研究力の強化と重点化



■ 重点疾患

糖・脂質代謝疾患

脳神経疾患

腎・泌尿器疾患

■ 両社の強みの融合、さらなる強化

強い最適化能力
メディシナルケミストリー

田辺製薬

×

強いテーマ発掘力
ゲノム科学・計算科学

三菱ウェルファーマ

■ 三菱ケミカルホールディングスグループとの連携強化

国内開発パイプライン

- 免疫・炎症疾患
- 糖・脂質代謝疾患
- 肝疾患

海外開発パイプライン

- 腎領域を核として欧米での第Ⅲ相臨床試験推進
- 腎領域に続く、グローバル開発疾患領域を2010年を目処に選択
 - ・糖尿病及び関連疾患
 - ・脳神経疾患

創薬（新薬研究開発）

治療満足度が低い疾病の治療薬の研究開発

個別化医療への挑戦

副作用や薬剤不応答の回避

ジェネリック医薬品事業

治療満足度の高い医薬品を低価格で提供

新たな事業機会への挑戦

中期経営計画策定のポイント



合併効果の早期発現

研究開発の方向性検討
海外事業展開の具体策

物流・生産・研究拠点統合
国内関係会社の再編・統合

ジェネリック拡大施策
個別化医療への挑戦

医薬品の創製を通じて、
世界の人々の健康に貢献します



田辺三菱製薬

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、
両社と合併新会社の現時点での入手可能な情報に基づき、
一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、
将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がございますので、
ご了承ください。

また、本資料に記載された両社または合併新会社を除く企業等にかかわる情報は
一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用しており、
それらの正確性および完全性等について両社は検証を行っておらず、
また、これを保証するものではありません。